

フリガナ											
氏 名											
学部生記入欄	所 属	学部					学科				
	在籍期間	年 4 月 入学					年 3 月 卒業（予定）				
	学生番号										
科目等履修生記入欄	所 属	学部		学科		専攻（1. 一般科目等履修生 2. 大学院所属）					
	在籍期間	年 月 から			年 月 まで（予定）						
	科目等履修生番号										

教職実践演習について

【科目の趣旨】

2006年7月の中央教育審議会答申(「今後の教員養成・免許制度の在り方について」)において提言された事項を制度化するため、2008年3月に「教育職員免許法施行規則」が改正されました。これにより、2010年度入学生より、新たに「教職実践演習(中・高)」(半期:2単位)が必修となりました。この科目は、教育実習を終えた学生を対象に、「教職課程の履修を通じて、教員として最小限必要な知識技能を確実に身に付けさせるとともに、その知識技能を明示的に確認することを目的とする」ものです。

【広島工業大学における教職実践演習(中・高)の概要】

① 開講時期

4年次後期に開講します。原則として、金曜日9・10時限に開講される授業を履修します。

② 授業形態

履修者数20人程度の演習形式で行います。

③ 授業内容

各人の教育実習の経験・反省をふまえて、「使命感・責任感・教育的愛情」「社会性・対人関係能力」「子ども理解・学級経営」「教科指導力」といった内容について、模擬授業・ロールプレイング・グループディスカッションなど実践的な方法を中心に学習します。

④ 履修登録

4年次前期の履修登録の際に行います。

⑤ その他

「教育実習指導」「教育実習(高)」「教育実習(中・高)」「教職実践演習(中・高)」の履修登録を行うためには、本学の「教員免許状の手引き」に定めた教育実習の履修資格を満たしたうえで、次に説明する「履修カルテ」の作成及び提出が必須となります。

履修カルテについて

【目的】

教職課程を履修している学生ひとりひとりの学習状況をきめ細かく把握するためのものです。

【作成時期】

教職課程履修1年目から教員免許取得まで、継続して作成します。

【内容】

「1. 施行規則第66条の6に定める科目の履修状況」「2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況」「3. 各教科の指導法に関する科目の履修状況」「4. 教科に関する専門的事項に関する科目の履修状況」「5. 介護等体験」「6. 教育ボランティア等体験に関すること」「7. 教育実習に関すること」「8. その他の教職に関連する活動等」「9. 自己評価シート」により、構成されています。

【作成の手順】

- ① 教職課程の履修説明会時にカルテを配付します。
- ② 必要事項を記入します。
- ③ 学期ごとに、履修状況を記入します。
- ④ 学年ごとに、自己評価シートの記入を行います。
- ⑤ 教育実習、教職に関連するボランティア等の活動について、適宜、記入します。
- ⑥ 欄が足りなくなった場合は、各自、適宜に欄を増やすなどして使用してください。

【提出時期】

- ① 1回目・・・「1年生教職課程履修ガイダンス」の時に配付し、1年生の11月上旬に提出します。教員が内容を確認後、教職課程センターで保管します。
- ② 2回目・・・「2年生教職課程履修ガイダンス」の時に返却し、2年生の4月下旬に提出します。教員が内容を確認後、教職課程センターで保管します。
- ③ 3回目・・・2年生の10月上旬に返却し、11月上旬に提出します。教員が、内容を確認後、教職課程センターで保管します。
- ④ 4回目・・・「3年生教職課程履修ガイダンス」の時に返却し、3年生の4月下旬に提出します。教員が内容を確認後、教職課程センターで保管します。
- ⑤ 5回目・・・3年生の10月上旬に返却し、11月上旬に提出します。教員が内容を確認後、教職課程センターで保管します。
- ⑥ 6回目・・・「4年生教育実習予定者ガイダンス」の時に返却し、4年生の4月下旬に提出します。教員が内容を確認後、教職課程センターで保管します。
- ⑦ 7回目・・・「教職実践演習(中・高)」の初回授業時(教育実習実施年度の後期授業開始時)に返却し、1月下旬に提出します。

【注意事項】

- ・ 履修カルテの提出がない場合、「教育実習指導」「教育実習(高)」「教育実習(中・高)」及び「教職実践演習(中・高)」の履修は認められませんので、十分注意してください。
- ・ 「教職実践演習(中・高)」の履修までに、教育ボランティア等に最低1回は参加して、該当箇所に記入しておく必要があります。
- ・ 欄が足りない場合は、適宜、欄を増やして記入してください。
- ・ 記入漏れや、不備により再記入・再提出を求めることがあります。

履修カルテ記入の仕方

1. 「施行規則第 66 条の 6 に定める科目の履修状況」「教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況」「各教科の指導法に関する科目の履修状況」及び「教科に関する専門的事項に関する科目の履修状況」について

履修した科目について、「単位数」「修得年度」「教員名」「成績評価」「学んだこと」を記入します。
単位を取得しなかった科目を記入する必要はありません。

教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況（その 1）（記入例）

法令上の 区分	科目名	単 位 数	修得 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと	備考
教育の基 礎的理 解に 関する 科目等	教職論	2	2025 年 度	工大太郎	A	○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○…	

※ 「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科の指導法に関する科目」の「学んだこと」欄は 100 字程度で、「教科に関する専門的事項に関する科目」の「学んだこと」欄は 50 字程度に要約して記入すること。

例：日本の古代史から中世史の思想やギリシャ哲学について学んだ。主に○○○……………
に興味が出てきた。学校教育の○○○○……………すべきであると提案したい。など

2. 「介護等体験に関すること」について

「介護等体験に関すること」は、介護等体験先が決まった段階で施設名などを可能な範囲で記入します。介護等体験が終わった段階で、「介護等体験で学んだこと、新たに自己の課題として感じられたこと」をまとめます。

中学校の免許状取得を目指す者は、7 日間（特別支援学校 2 日間、社会福祉施設 5 日間）の介護等体験が必修です。

3. 「福祉ボランティア等体験」について

比較的長期間にわたって、県市町の社会福祉協議会等のボランティア活動をしたことがあれば記入します。

4. 「教育実習に関すること」について

「教育実習に関すること」は、実習予定校が決まった段階で実習校名などを可能な範囲で記入します。教育実習が終わった段階で、「教育実習で学んだこと、新たに自己の課題として感じられたこと」をまとめます。

5. 「教育実習・教職実践演習担当者によるコメント記載欄」について

この欄は記入しないでください。

6. 「その他の教職に関連する活動等」について

学校ボランティアや学習支援員、部活動の指導など、教職に関連する活動があれば記入します。

その他の教職に関連する活動等 (記入例)

(大学関係)

名称	期間または年月日	場所	活動内容	学んだこと
広島工業大学〇〇会	〇年〇月〇日	沼田校舎	広島工業大学〇〇会 〇〇年度研究大会	〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇...

(その他)

学習支援ボランティア	〇年4月1日 ～ 〇年3月31日	〇〇高等学校	〇〇が苦手な生徒に対して、教員の指導のもと、授業補助を行った。	〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇...
------------	------------------------	--------	---------------------------------	----------------------

7. 「自己評価シート」について

各学年が終了する段階で、その学年での教職に関する学習過程について自己評価を行い、該当する数字を記入します。1年次終了時、2年次終了時、3年次終了時に自己評価を行います。

1. 施行規則第 66 条の 6 に定める科目の履修状況（必修 8 単位）

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと	備考
日本国憲法	日本国憲法	2					必修
体育	生涯スポーツA または 生涯スポーツB	2					必修
外国語コミュニケーション	キャリア英語 I	2					必修
数理、データ活用 及び人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	情報技術基礎	2					必修

2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況

(高校必修/25 単位、中学必修/29 単位) (その 1)

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教職論	2					教職の意義及び教員の役割・職務内容 必修
	教育原理(教育課程論を含む)	2					教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教育課程の意義及び編成の方法 必修
	教育心理学	2					生徒の心身の発達及び学習の過程 必修
	特別支援教育	2					特別の支援を必要とする生徒に関する理解 必修
	教育社会学	2					教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況

(高校必修/25 単位、中学必修/29 単位) (その2)

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと	備考
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	1					教育の方法及び技術 必修
	ICT 活用の理論と方法	1					情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 必修
	道徳教育の指導法	2					道徳の理論及び指導法 中必修
	特別活動論	2					特別活動の指導法 必修
	総合的な学習の時間の指導法	2					総合的な学習の時間の指導法 必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況

(高校必修/25 単位、中学必修/29 単位) (その3)

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと	備考
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	生徒指導論(進路指導を含む)	2					生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 必修
	教育相談(カウンセリングを含む)	2					教育相談の理論及び方法 必修
教育実践に関する科目	教育実習指導	1					事前及び事後指導 必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況

(高校必修/25 単位、中学必修/29 単位) (その4)

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと	備考
教育実践に関する科目	教育実習(高)	2					教育実習 高必修
	教育実習(中・高)	4					教育実習 中必修
	教職実践演習(中・高)	2					教職実践演習 必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

3. 各教科の指導法に関する科目の履修状況（その1）

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと	備考
各教科の指導法に関する科目	情報科教育法Ⅰ	2					各教科の指導法
	情報科教育法Ⅱ	2					「情報」免許必修
	工業科教育法Ⅰ	2					各教科の指導法
	工業科教育法Ⅱ	2					「工業」免許必修
	理科教育法Ⅰ （中・高）	2					各教科の指導法 中・高「理科」免許必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

3. 各教科の指導法に関する科目の履修状況（その2）

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと	備考
各教科の指導法に関する科目	理科教育法Ⅱ （中・高）	2					各教科の指導法 中・高 「理科」 免許必修
	理科教育法Ⅲ （中）	2					各教科の指導法 中 「理科」 免許必修
	理科教育法Ⅳ （中）	2					各教科の指導法 中 「理科」 免許必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

4. 教科に関する専門的事項に関する科目の履修状況

(各教科の必修を含め高校/36 単位以上、中学/28 単位以上) (その 1)

科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと	備考

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

5. 介護等体験に関すること（中学校必修）

（介護等体験先）社会福祉施設 5 日間

施設名	所在地	期間	備考

（介護等体験で学んだこと、新たに自己の課題として感じられたこと）

（介護等体験先）特別支援学校 2 日間

学校名	所在地	期間	備考

（介護等体験で学んだこと、新たに自己の課題として感じられたこと）

介護等体験担当教員によるコメント記載欄

--

6. 福祉ボランティア等体験に関すること

(体験先)

名称	期間	学んだこと	課題	備考

7. 教育実習に関すること

(実習校)

学校名	所在地	実習期間	実習教科	備考

(教育実習で学んだこと、新たに自己の課題として感じられたこと)

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a solid vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The top edge of the paper has some faint, illegible markings, possibly from a previous page or scanning artifacts. The overall appearance is that of a clean, unused piece of stationery.

教育実習・教職実践演習担当教員によるコメント記載欄

--	--

8. その他の教職に関連する活動等

(大学関係)

名称	期間または年月日	場所	活動内容	学んだこと

(その他)

名称	期間または年月日	場所	活動内容	学んだこと

9. 自己評価シート

必要な資質能力の指標		自己評価 (下段の※印の中から当てはまる数字を記入する)		
項目	指標	1年次終了時	2年次終了時	3年次終了時
教育に対する情熱・使命感	教育に対する情熱・使命感を高めるための努力をしている			
教育の重要性の認識	教育の重要性と社会的意義・責任を深く認識している			
教科教育に関する専門的知識	取得する免許に関する専門的知識を十分に有している			
授業実践に関する力量	模擬授業やゼミでのプレゼンテーションなどを通じて授業実践に関する力量を高めようとしている			
子どもとともに歩む姿勢	子どもを一人の人間として尊敬し、ともに成長する存在となることを目指している			
生徒とのかかわりの経験	学校ボランティア等を通じて、積極的に生徒と触れ合う機会を持つとしている。			
幅広い教養	一般常識を踏まえ、社会人として必要となる教養を身につけている			
社会性と協調性を兼ね備えた人間性	他者と積極的に交流し、共同して作業を行うことができる			

※（5:とてもよくできた, 4:ある程度できた, 3:どちらともいえない, 2:あまりできなかった, 1:できなかった）

